

令和7年度
第60回 神奈川県中学校陸上競技選手権大会
兼 国民スポーツ大会神奈川県予選会大会要項

1. 主 旨 この大会は、スポーツの正常な発展をはかり、体育文化の向上を期することたる目的であり、生徒たちが正しい陸上競技の経験によって、公正に行動し、進んで規則を守り、お互いに協力して責任を果たすなどの社会生活に必要な生活態度を身につけ、スポーツを愛好し、余暇を有意義に活用する習慣を養い、体力・気力の充実した心身ともに健康な中学生の育成に努める。
2. 主 催 (一財) 神奈川県陸上競技協会 神奈川県中学校体育連盟
3. 主 管 神奈川県中学校体育連盟陸上競技専門部
4. 後 援 神奈川県教育委員会 横浜市教育委員会 神奈川新聞社
5. 日 時 ①令和7年4月26日(土) ②4月27日(日) 9時00分競技開始
6. 会 場 三ツ沢公園陸上競技場 横浜市神奈川区三ツ沢西町3-1 TEL045-548-5147
7. 種 目 <男子12種目>
 100m② 200m① 400m② 800m① 1500m② 3000m①
 (12.74) (27.24) (1:00.40) (2:30.00) (5:05.00) (10:45.00)
 110mH① 走高跳② 棒高跳① 走幅跳② 砲丸投② 4×100mR①
 (21.24) (1m55) (なし) (5m00) (7m50) (47.64)
 <女子9種目>
 100m① 200m② 800m① 1500m② 100mH②
 (14.34) (30.24) (2:50.00) (5:45.00) (19.54)
 走高跳① 走幅跳① 砲丸投① 4×100mR①
 (1m35) (4m00) (7m00) (54.14) (参加標準記録) ①②は実施日
8. 競技規則 2025年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項に準じて行う。
9. 参加資格 (1) 2025年度日本陸上競技連盟登録者であること。
 (2) 神奈川県中学校体育連盟加盟の中学校に在学し、かつその中学校で設置されている部活動に入部している生徒で、学校長が出場を承認した生徒であること。
 (3) 神奈川県中学校体育連盟加盟の中学校に在学し、その中学校で部活動が設置されていない場合でも、学校長が教育活動の一環として参加を承認した生徒であること。
 (注) 大会参加申込書(専門部保管) 保護者の大会出場承諾書(所属保管)
 ※参加資格の特例
 学校教育法134条の各種学校(1条校以外)に在学する生徒であり、神奈川県中学校体育連盟が参加を認め、当該学校長の承認を得た生徒であること。
 (4) 当該校の校長・教員・部活動指導員・校長が適切であるとして認めた地域〔外部〕指導者(学校設置者が認めた者)が、引率および役員として参加できること。
 (5) 学校単位のみ参加できる。
 ※部活動指導員とは、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。
 ※部活動指導員・地域〔外部〕指導者(学校設置者が認めた者)が引率・監督を務める場合は、所定の「部活動指導員報告書(校長承認書)」または「地域〔外部〕指導者大会引率者・監督者報告書(校長承認書)」に必要事項を記入し、県中体連事務局に提出する。なお、部活動指導員および地域〔外部〕指導者は他校の引率者並びに依頼監督になれない。
 ※引率者の特例
 神奈川県中体連主催大会及び共催大会で、県内で開催する大会を対象とし、大会への参加にあたって、校長・教員・部活動指導員が引率できず、校長がやむを得ないと判断した場合、運動部活動における地域〔外部〕指導者の引率に関する取扱規定及び神奈川県中学校体育連盟監督・引率に関する規定により、校長が引率者として承認した地域〔外部〕指導者の引率を認める。

10. 参加制限
- (1) 参加標準記録を突破した1校1種目1名（リレーは除く）。ただし、リレー以外は、県30傑表の共通の種目で20傑に入っている選手がいる場合、1校2名以上出場できる。[地区専門部長の承諾を得ること。]
 - (2) (1) で県30傑表の共通の種目で20傑に入っている選手は、その種目と他の1種目に出場できる。
 - (3) 20傑に入っている選手が、他の1種目に出場する場合、その種目の出場者は、その選手のみとする。
 - (4) 上記の20傑に入っていないが、有望な選手で地区の専門委員の推薦がある場合、県専門部会で承認を得て、その種目と他の1種目に出場できる。
※20傑に入っている選手に関しては、「神奈川県中学校陸上競技30傑表」の「共通学年の種目」で確認すること。
 - (5) 参加標準記録の突破者がいない学校の救済条件として、突破者がいない日に限り、その日に行われる種目の中から1種目を選び、その種目に限り1名の参加を認める。
 - (6) リレーは1校1チームとし、標準記録を突破した学校は出場できる。[地区専門部長の承諾を得ること。]
 - (7) 1年生は、入部間もなく、十分な練習を積んでいないため、参加を認めない。

11. 計 時 全ての競技者のタイムを計測する。
ただし中長距離種目は競技進行上制限タイムを設け、下記の時間を越えた場合ただちに競技を終了する。

男子800m 2分30秒, 1500m 5分05秒, 3000m 10分45秒

女子800m 2分50秒, 1500m 5分45秒

フィールド種目 予選計測ライン

	走幅跳	走高跳	砲丸投	棒高跳
男子	5m00	1m60	8m00	2m70
女子	4m00	1m40	7m50	X

※決勝は全計測とする。

12. 参加費 1人1種目 600円 リレー1チーム 1,100円

13. 表彰 各種目8位までに賞状を、優勝者には選手権章を授与する。

14. 申し込み ①大会参加申込書2部(所属長印・申込責任者印を押印したものとコピー)

②エクセルに入力したデータ(2025年度JAAF IDを入力のこと)

③大会参加費

④資格審査確認用紙(参加標準記録 2種目出場)

①～④を4月4日(金)必着で、20地区専門部長(もしくは担当者)まで提出。

※各地区専門部長は、上記のものをまとめてプロ編に持参すること。

15. プロ編成 日 時: 4月15日(火) 11時

場 所: 横浜市立大綱中学校 〒045-542-4422 会場責任者: 加藤裕也

16. その他
- (1) アスリートビブスは、県指定の学校番号を使用すること。布の大きさは、横240mm、縦160mmとし、数字は高さ10cm以上、幅5cm以上で太く飾り字は使わない。白布には番号だけを記入し、学校名等は記入しい。男子は黒字、女子は赤字。腰ナンバー標識は、主催者側が用意する。
 - (2) トラック競技のスタートは、1回目の不正スタートで失格とする。
 - (3) 運営上、計測ライン及び高さを打ち合わせで決定する。
 - (4) 本大会における参加者の傷害等は、「独立行政法人 日本スポーツ振興センター法」の適用となる。
 - (5) 主催者の責によらない事由(悪天候・警報・事件等)で大会が中止になった場合、参加費の返金を行わない。
 - (6) 状況により参加者を制限する可能性がある。制限する場合は、別途専門委員を通じて連絡をする。その場合、申込が早まる場合もある。
 - (7) 投てき用器具は、競技場備え付けのものを使用する。

(別表)

2024年度 神奈川県中学校陸上競技20傑記録

共通	男子	女子
100m	11.22	12.82
200m	23.05	26.59
400m	52.52	
800m	2:02.01	2:23.16
1500m	4:11.92	4:56.26
3000m	9:03.00	
110mH	15.46	
100mH		15.36
走高跳	1m74	1m48
棒高跳	3m20	
走幅跳	6m12	4m90
砲丸投	11m26	10m23

【参加制限（要項より一部抜粋）】

- ・上記20傑に入っている選手がいる場合、1校2名以上出場できる。
[地区専門部長の承諾を得ること]
- ・上記20傑に入っている選手は、その種目と他の1種目に出場できる。
- ・上記20傑に入っている選手が、他の1種目に出場する場合、その種目の出場者は、その選手のみとする。
- ・上記20傑に入っていないが、有望な選手で地区の専門委員の推薦がある場合、県専門部会で承認を得て、その種目と他の1種目に出場できる。

2025年度県中学選手権 参加標準記録

		参加標準記録	
性別	種目	写真判定	手動計時
男子	100m	12.74	12.5
	200m	27.24	27.0
	400m	1:00.40	1:00.2
	800m	2:30.00	2:30.0
	1500m	5:05.00	5:05.0
	3000m	10:45.00	10:45.0
	110mH	21.24	21.0
	4×100m R	47.64	47.5
男子	走高跳	1m55	
	走幅跳	5m00	
	砲丸投	7m50	
	棒高跳	なし	

		参加標準記録	
性別	種目	写真判定	手動計時
女子	100m	14.34	14.1
	200m	30.24	30.0
	800m	2:50.00	2:50.0
	1500m	5:45.00	5:45.0
	100mH	19.54	19.3
	4×100m R	54.14	54.0
	女子	走高跳	1m35
走幅跳		4m00	
砲丸投		7m00	

※ **太字が変更点です。**

<参加標準記録について>

- 1 原則として、上記の標準記録を突破した選手のみ大会に出場することができる。
- 2 申込時に、全選手分の資格審査確認用紙を提出する。
- 3 資格記録は前年度（2024年）4月1日～申込締切日前日までの期間で樹立した記録とし、樹立年月日・競技会名を申込の際に報告（入力）すること。
- 4 資格記録は公認大会での記録（追風参考含む）、または専門部・陸協主催の未公認大会・未公認記録会（準公認記録）で樹立した記録のみとする。詳細は各地区で確認すること。
- 5 資格記録の入力のない場合や記録を偽って記入した場合には、今後の競技会への出場を認めない場合がある。
- 6 県外の大会や大学記録会等、各地区の専門部が管理していない競技会の記録を使用する場合、参加校が記録証明書等を申込み時に提出する。
- 7 下記の救済条件を使用する場合、資格審査用紙の記録欄に「救済」と記入する。
- 8 標準突破者がいない学校の救済を以下の通り行う。

救済条件：

- ※1 2日間、競技開始から終了まで競技役員（審判）を1人以上出すこと。
- ※2 大会のいずれかの日に、一人も標準突破者がいない場合。突破者がいない日に限り、その日に行われる種目の中から1種目を選び、その種目に限り1人の選手の参加を認める。（競技実施日は要項を確認すること）